

令和6年度 安城市行政改革審議会(外部評価) 次第

令和6年11月15日(金)
午後1時30分～午後4時10分
災害対策本部室

- 1 経営管理課長あいさつ
- 2 外部評価の進め方について
- 3 外部評価
 - (1)観光案内所運営事業
 - (2)部活動(運動部)地域移行と地域スポーツ指導者の育成
- 4 意見交換・振り返り



外部評価の進め方について (1事業50分)



①担当課による事業説明(10分)

- ・「事業評価シート」に基づきご説明します。

②委員の皆さまと担当課職員との質疑(25分)

- ・担当課からの説明を踏まえ、質疑応答を行い議論を深めていただきます。
- ・質疑応答中も評価シートのご記入を進めていただいて結構です。

③必要性や有効性等の観点から、事業を評価(15分)

- ・評価シートをご記入いただきます(3分)
評価にあたっては、委員の皆様が評価しやすいよう「対象事業の論点に対する評価区分について」を作成しましたので、参考にしてください。
➡3分経過後に、評価シート①、②のうち、評価シート①を回収します。
- ・評価に関するご意見をお伺いします(10分)
- ・評価結果の発表を行います(2分)



評価の視点

評価 視点	必要性	行政関与の必要性、初期事業目的の達成状況、総合計画や市民ニーズとの関連性
	有効性	目標に対する進捗状況
	効率性	目的及び目標に対する事業実施方法の適正化、事務の効率化・簡素化
	公平性	事業規模及びサービス水準の適正化、受益と負担のバランス

評価区分（「対象事業の論点に対する評価区分について」をご参照ください）

評価区分	内 容
拡充	事業規模（事業量、予算、人員）を拡大し、事業内容を大幅に充実させるもの
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要があるもの※
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続するもの
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの
廃止	事業を廃止するもの

※実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等

3



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

【当日配布資料】評価シート①（評価結果集計用）

R6.11.15

令和6年度 安城市行政改革審議会（外部評価）

評価シート①

委員名	〇〇 〇〇
事業No.	1
事業名	観光案内所運営事業
評価 該当するものに○印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止

・評価シート①は評価結果集計のため、評価シート記入開始から3分経過後に回収します。



【当日配布資料】評価シート②(評価コメント記入用)

R6.11.15

令和6年度 安城市行政改革審議会（外部評価）
評価シート②

委員名	〇〇 〇〇
事業No.	1
事業名	観光案内所運営事業
評価 該当するものに〇印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止
《評価コメント》 ・ 評価理由をご記入ください。 ・ 具体的な取組や方法等がありましたらご記入ください。	
事業をより効果的に行うためのアイデアがございましたら、ご記入ください。	

市側の説明について該当するものに〇印をつけてください。

事業説明は分かりやすかったですか。	分かりやすい ・ 普通 ・ 分かりにくい
質疑応答では、回答は明快でしたか。	明快である ・ 普通 ・ 明快でない

運営その他、お気づきの点がございましたらご記入ください。

外部評価終了後、この評価シートは机の上に置いたままお帰りください。

・評価シート②へ、評価結果に加えて評価コメントのご記入をお願いします。

・質疑応答の時間中も、適宜ご記入いただいて結構です。

・点線より下にアンケートがございますので、ご協力をお願いします。

・外部評価終了後、評価シート②は、机の上に置いたままお帰りください。



【当日配布資料】 対象事業の論点に対する評価区分について

対象事業の論点に対する評価区分について		
事業番号	1	事業名 観光案内所運営事業
論点	観光客だけでなく市民が観光案内所を訪れ、安城市の観光資源を知り、地域経済の活性化につなげていくため、駅を利用するさまざまな市民を観光案内所に誘客したいと考えますがいかがでしょうか。	
評価区分	評価イメージ※1	市の自己評価※2
拡充	観光案内所は安城の玄関口に立地し、地域の魅力発信や、観光客支援の場として重要であるから、現在の場所で観光案内所を維持継続し、観光客向けのサービスを拡充する等により市外からの観光客の増加を目指す。	
要改善	観光案内所は利便性が高い場所に立地しており、多くの人が利用することで地域の賑わい創出につながるから、観光客のみならず市民が気軽に立ち寄ることが出来るよう、市民や駅利用者利用しやすいサービス形態を取り入れる。	○
現行どおり	観光案内所は市内でも利便性が高く、市外からの観光客がアクセスしやすい場所に立地していることから、観光案内や観光情報を観光客に直接伝えるため、現在の観光案内所の規模や機能を維持する。	
縮小	デジタルツールの普及等の社会背景を考えると、観光案内所については規模を縮小してチラシ等を置くにとどめ、今後はデジタル技術やDXを活用した観光情報の発信や、デジタルサイネージによる観光案内に転換する。	
廃止	デジタルツールの普及等の社会背景を考えると、現在の有人の観光案内所については廃止し、今後の観光情報の発信はデジタル技術やDXの活用を中心にする。	
【上記表の説明】		
評価イメージ※1	論点に対する評価区分の例を表しています。	
市の自己評価※2	市の提案内容を5つの評価区分に分けた場合に該当する評価を表しています。	

・各事業における、論点に対する評価区分のイメージを記載しております。評価の際の参考にしてください。